

③	②	①
アシカ	いも虫の ように からだを 上下に くねらせながら うごきます。	水の中
セイウチ		りく

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしょに かかれて います。

① アザラシは、水の中と ② りくの どちらでも
くらす ことが できます。 アザラシが りく
に いる ときは、いも虫の ように からだを
上下に くねらせながら まえに うごきます。
③ アザラシは、アシカや セイウチと かたち
に ています。

③	②	①
イ	大きな 木の うら	あいだ かずに かぞえて いる おにに なった 子が

「かいせつ」

(1)と(2)は文しょうのつぎのばしょにかかれています。

みんなでかくれんぼをした。

「いち、にーい、さーん。」

(1) おにになった子が(2) かずをかぞえている。そのあいだに、ぼくは大きな木の

うらにかくれた。みつからないか(3)どきどきしながらおにがくるのをまった。

(3) おににみつからないかきんちようしているのをあらわすことばが入ります。



③	②	①
りく	いも虫の ように からだを 上下に くねらせながら すすみます。	セイウチ
水の中		アシカ

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしょに かかれて います。

① アザラシは、セイウチや アシカと かたち が ③ に います。

アザラシは、りくと 水の中 の どちらでも ② くらす ことが できます。 アザラシが りく

に いる ときは、いも虫の ように からだを

上下に くねらせながら すすみます。



③	②	①
ウ	すべりだいの よこ	あいだ かずを かぞえて いる おにになつた 子が

「かいせつ」

(1)と(2)は文しょうのつぎのばしょにかかれています。

みんなでかくれんぼをした。

「いーち、にーい、さーん。」

(1) おにになつた子が

かずを

かぞえて

 いる。そのあいだに、(2) わたしはすべりだいのよこに

かくれた

。おにが

ちかくに

いないか

どきどき

しながら

まわりを

見た

。

(3) おににみつからないか

きんちようして

いるのを

あらわす

ことばが

入ります

。



④	③	②	①
くろっぽい赤	きいろ	青森けん	あき
	みどり	ながのけん	

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしょに かかれて います。

① りんごは あきに よく とれます。大きさは サクランボくくらいの ものから かた手で もて ない くらいのもので あります。

③ りんごは ② すずしい とちの ほうが つくり やすいので、青森けんや ④ ながのけんで よく つくられて います。りんごは 赤い いろが おおいですが、きいろや みどり、くろっぽい赤 も あります。



④	③	②	①
ものまで あります。	サクランボく らいのもの から かた手 で もて ない くらい の	青森けん ながのけん	あき すず しい

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしょに かかれて
います。

① りんごは あきに よく とれます。 ② りんご

は すずしい とちの ほうが つくり やすい
ので、③ 青森けんや ながのけんで よく つく
られて います。

りんごは 赤い いろが おおいですが、きい
ろや みどり、くろっぽい赤も あります。 ④ 大

きさは サクランボくらしいの ものから かた手
でもてない くらいのもので あります。



だういぢかひんぐてーに たまひをいれー

ー ちうぢかぢか だういぢかひんぐてーに じやぢかぢ ーういんー

お
す
い

い
か
り
あ
か
ぢ

い
い
グ
井

い
ク
ト

い
ク
い
い

い
い
い
い
い

お
い
い
い
い

おぢかぢかぢ ーういんー だういぢかぢ

あ
か
あ
か
い

ーういんー ちう

い
い
井
い
い

ちういんー だういぢかぢ

い
い
い
い
い

いぢかぢ ーういんー だういぢかぢ

い
い
い
い
い

ちういんー だういぢかぢ

い
い
い
い
い

ーういんー だういぢかぢ

いん

3

しながわ・目黒こどもスクー